

改築後間取り図

□ 空間構成

1F

床は基本的に土間空間とする。
 玄関上部に吹抜けを施す。
 既存個室を統合しワンルームを形成する。
 多目的室として活用する。
 オープンスペースには陳列棚・飾り棚を多数設置する。
 カウンターテーブルを設置し、コミュニケーションの場を設ける。
 パブリックな場に対し、階段回りをプライベートな場とする。
 プライベートな場に付随して、茶室を配置する。
 裏方にも一つの秘密的なコミュニケーションの場が浮かぶ。
 構造材を仕上げし、着色する。(濃淡をつけ陰影をつける)

2F

階段はそのまま残し再利用する。
 基本的に白の空間とし、明るく仕上げる。
 吹抜けを配置する。
 2階に水廻りを配置する。
 構造材を仕上げし、着色する。(白)

□ リユース概要

既存構造材

できる限り間取りを変えず、構造材の新設を抑える。
 構造的に負荷がかかる個所への柱・梁の設置は許容する。

既存階段

昭和の文化住宅を連想するトリッキーな階段はそのまま活用する。

既存建具とガラス

仕上げ材として活用する。

廃材(材木)

- ① 陳列棚・飾り棚の仕上げ材へ転用
- ② 新設造物の下地材へ転用

廃材(砂壁)

- ① 仕上げ土間コンクリート下地の嵩上げ材として再利用する。
- ② 左官仕上げを行う場合、調合材料として練り合わせる。



1F plan 43.27㎡ 13.08坪

2F plan 38.01㎡ 11.49坪